D01051901A

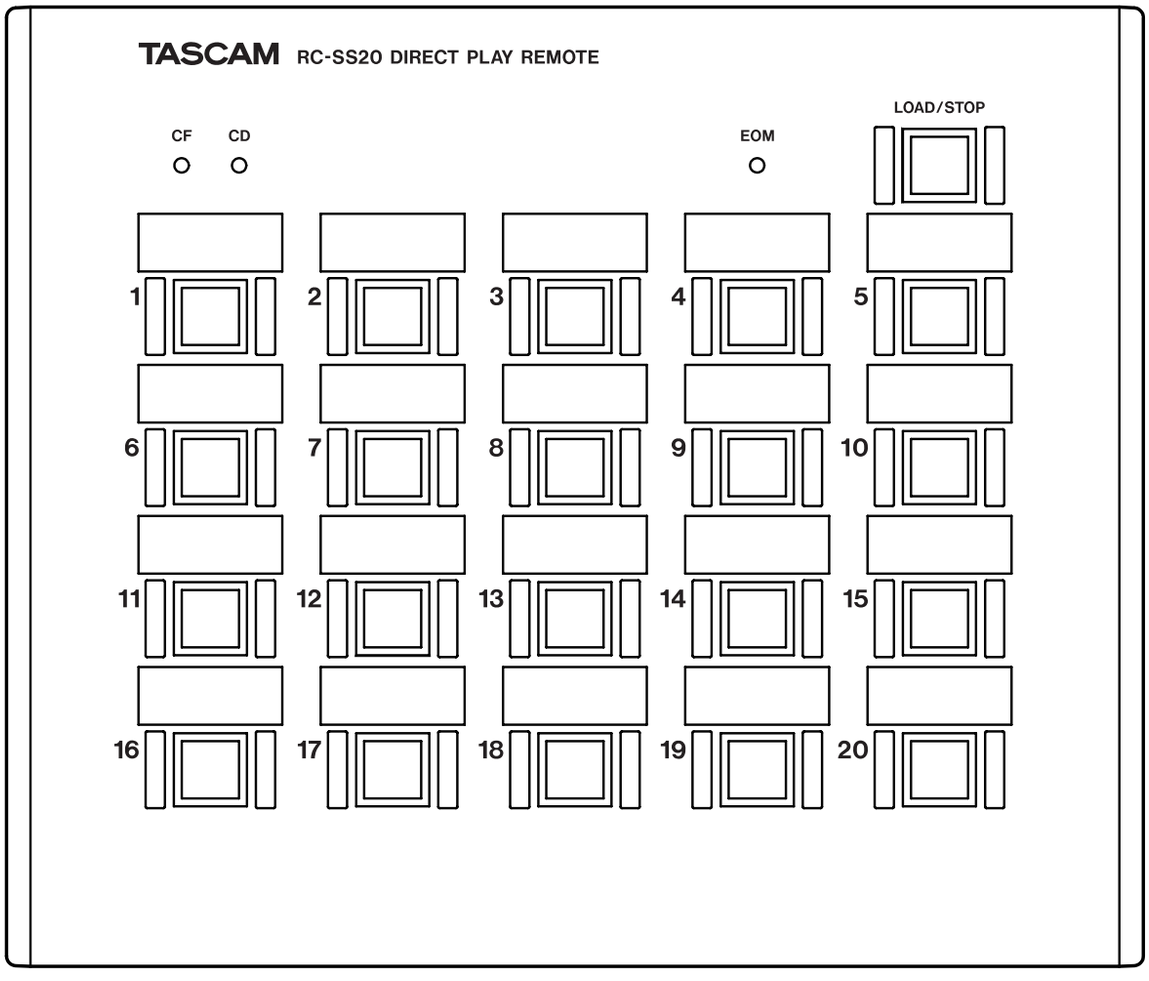
TASCAM

TEAC PROFESSIONAL

RC-SS20

Direct Play Remote Control

取扱説明書



目次

第１章　はじめに 2
主な機能 2
本製品の構成 2
結露について 2
製品のお手入れ 2
アフターサービス 2

第２章　各部の名称と機能 3
トップパネル 3
リアパネル 4
接続ケーブル 4

第３章　SS-R1 ／ SS-CDR1 と使う 5
接続する 5
レコーダーを設定する 5
フラッシュスタートする 5

第４章　HD-R1 と使う 6
接続する 6
レコーダーを設定する 6
ダイレクトプレイスタートする 6

第５章　仕様 7
一般 7
寸法図 7

第１章　はじめに

このたびはTASCAM RC-SS20をお買い上げいただきありがとうございます。本機はTASCAM SS-R1、SS-CDR1、HD-R1のPARALLEL端子を使用したダイレクトプレイスタート機能用ワイヤードリモコンです。本機をSS-R1、SS-CDR1またはHD-R1に接続することにより、手元から簡単にダイレクトプレイスタート機能を実行することができます。
この取扱説明書をよくお読みいただき、いつでも見られるところに保管してください。

主な機能

- SS-R1、SS-CDR1 接続時は 20 トラック、HD-R1 接続時は 16 トラックのダイレクトプレイスタートが可能。
- SS-R1、SS-CDR1 接続時は、フラッシュスタート機能による瞬時再生スタートが可能。
- 自照式のトラック再生キーをトラック別に装備。
- トラック再生の終了を告げるEOM表示。

本製品の構成

本製品の構成は以下の通りです。
なお、本機を開梱する時、損傷を与えないよう慎重に行ってください。梱包箱と梱包材は後日輸送するときのために保管しておいてください。
付属品が不足している場合や輸送中の損傷が見られる場合、当社までご連絡ください。

- RC-SS20 本体　× 1
- 保証書　× 1
- 取扱説明書（本書）　× 1

結露について

本製品を寒い場所から暖かい場所へ移動したときや、寒い部屋を暖めた直後など、気温が急激に変化すると結露を生じることがあります。結露したときは約１～２時間放置した後、電源を入れてお使いください。

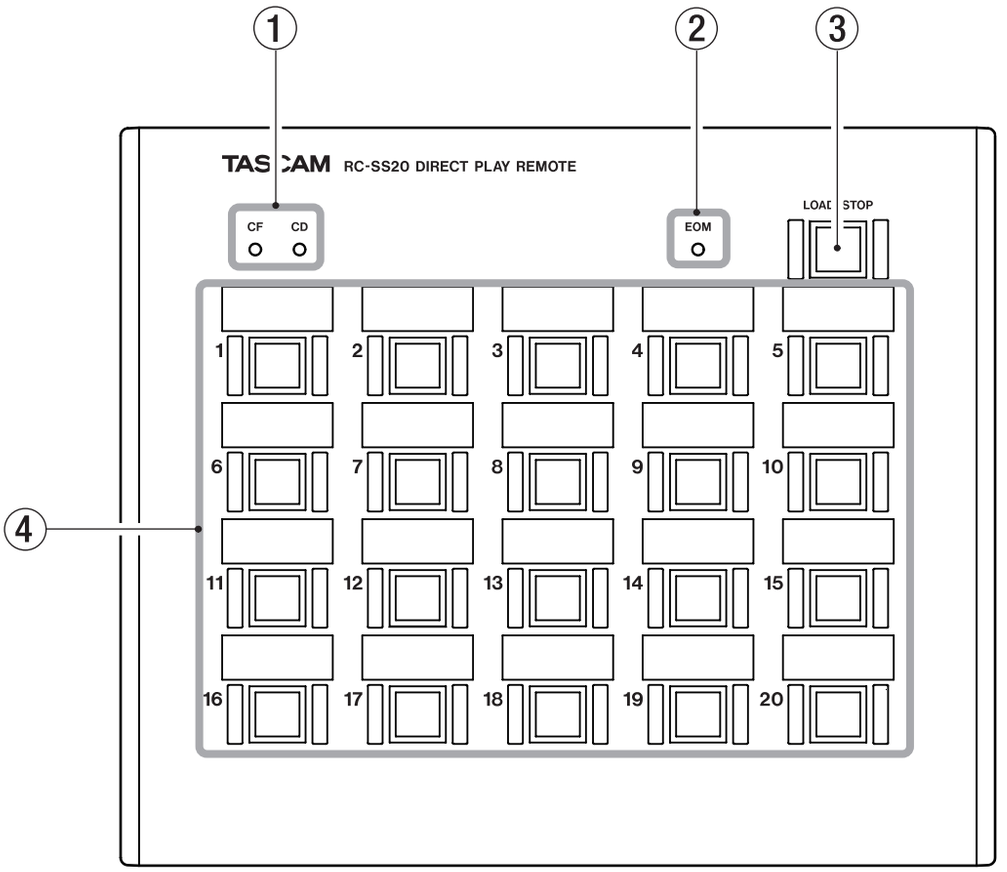
製品のお手入れ

製品の汚れは、柔らかい布でからぶきしてください。
化学ぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコール等で拭かないでください。表面を痛める原因となります。

アフターサービス

- この製品には保証書を別途添付しております。保証書は所定事項を記入してお渡ししておりますので、大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げ日より１年です。保証期間中は記載内容によりティアック修理センターが修理いたします。ただし、業務用製品の場合は、保証期間内であっても使用 1,000 時間を超えた場合は有償になります。その他の詳細につきましては保証書をご参照ください。
- 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理などについては、お買い上げの販売店またはティアック修理センターなどにご相談ください。修理によって機能を維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。
- 万一、故障が発生し修理を依頼される場合は、次の事項を確認の上、ティアック修理センターまでご連絡ください。
  - 型名、型番（RC-SS20）
  - 製造番号（Serial No.）
  - 故障の症状（できるだけ詳しく）
  - お買い上げ年月日
  - お買い上げ販売店名

トップパネル



① メディアインジケーター（CF、CD）

● SS-R1 を接続している場合：

CF インジケーターが常に点灯します。

● SS-CDR1 を接続している場合：

DEVICE SELECT で選択されている CF または CD のインジケーターが点灯します。

● HD-R1 を接続している場合：

CF インジケーターが常に点灯します。

② EOM インジケーター

本体から EOM タリー信号を受信すると点灯します。
SS-R1 ／ SS-CDR1 の場合、EOM タリー信号の出力条件を細かく設定することができます。
HD-R1 の場合、BUSY2 に設定された信号が点灯します。

③ LOAD/STOP キー

● SS-R1 ／ SS-CDR1 を接続している場合：

停止中にこのキーを押すと、SS-R1 ／ SS-CDR1 の現在の再生エリア内の各トラックの冒頭部のデータが本体内蔵のメモリーに取り込まれ、取り込みを完了するとインジケーターが点灯します。フラッシュスタートの動作状態に入っていない場合および再生中は、インジケーターが消灯します。
再生中にこのキーを押すと、再生を停止します。

● HD-R1 を接続している場合：

停止中は動作しません。
再生中にこのキーを押すと、再生を停止します。

④ 再生キー（1 ～ 20）

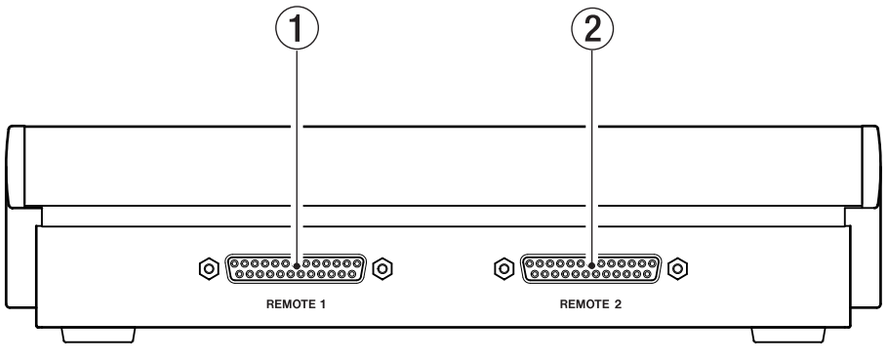
● SS-R1 ／ SS-CDR1 を接続している場合：

いずれかのキーを押すと、キーに対応する番号のトラックの再生が瞬時に始まります。再生中、インジケーターが点灯します。再生を終えて停止するとインジケーターが消灯します。
再生開始後に本体を再生待機にするとインジケーターが点滅します。

● HD-R1 を接続している場合：

再生キー 1 ～ 16 のみが有効です。再生キー 17 ～ 20 は機能しません。
再生キー 1 ～ 16 のいずれかのキーを押すと、キーに対応する番号のトラックの再生が始まります。再生中、インジケーターが点灯します。再生を終えて停止するとインジケーターが消灯します。

リアパネル



① REMOTE 1 コネクター
SS-R1 ／ SS-CDR1 を接続します。

② REMOTE 2 コネクター
HD-R1 を接続します。

ご注意

- REMOTE 1 コネクターと REMOTE 2 コネクターの両方に同時に機器を接続しないでください。
- 接続ケーブルの抜き差しは、SS-R1 ／ SS-CDR1 及び HD-R1 本体の電源を切った状態で行ってください。電源を入れたまま抜き差しをすると、故障の原因となります。

接続ケーブル

別売の専用接続ケーブル PW-SS20 を用意していますので、販売店またはタスカム営業にお問い合わせください。
なおケーブルを自作する場合は、下記の仕様に基づいて、D サブ 25 ピンコネクター間をストレート配線してください。

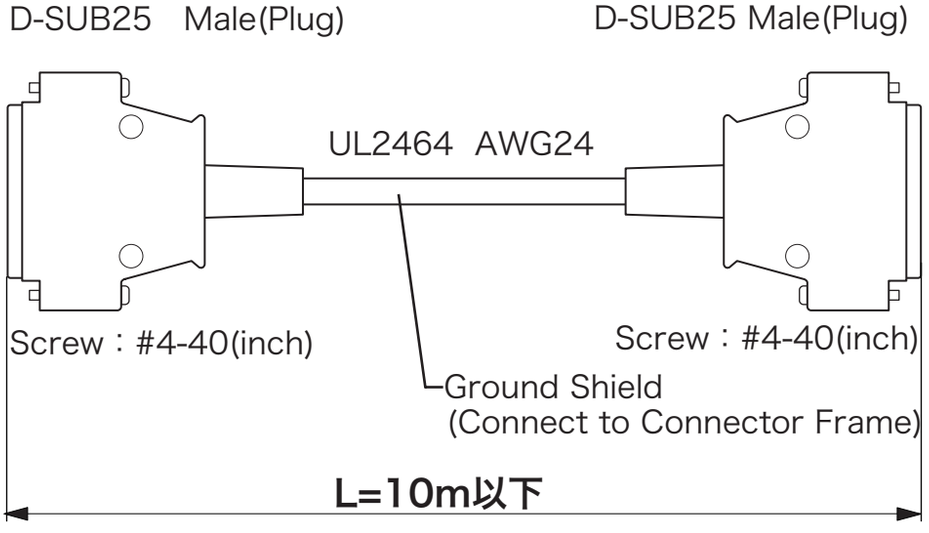
ケーブル仕様

D-SUB コネクター
ケース：ヒロセ電機 HDB-CTH1（4-40）相当品
プラグ：ヒロセ電機 HDBB-25P（05）相当品

ケーブル UL2464 AWG24
日立電線 UL2464-SB 25P x 24AWG（7/0.203）LF 相当品

長さ
10m 以下

配線：
ピン 1 ～ 25 をすべてストレート接続



第3章　SS-R1 ／SS-CDR1 と使う

接続する

SS-R1 ／SS-CDR1 リアパネルの CONTROL I/O (PARALLEL) コネクターと本機の REMOTE 1 コネクターを専用ケーブルで接続します。(→ 7ページ「接続ケーブル」)

ご注意

- REMOTE 1 コネクターに SS-R1 ／SS-CDR1 を接続時、REMOTE 2 コネクターには何も接続しないでください。
- 接続ケーブルの抜き差しは、SS-R1 ／SS-CDR1 本体の電源を切った状態で行ってください。電源を入れたまま抜き差しをすると、故障の原因となります。

レコーダーを設定する

以下の設定を行います。

● 再生モードを Single に設定します。(→ SS-R1 取扱説明書 23ページ、SS-CDR1 取扱説明書 23ページ「第5章　再生モードを設定する」)

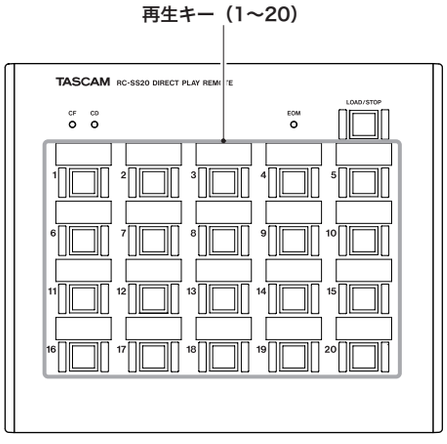
● 必要に応じて EOM 機能を設定します。(→ SS-R1 取扱説明書 31ページ、SS-CDR1 取扱説明書 23ページ「第5章　EOM 機能」)
トラックの残り時間または再生エリアの残り時間をトリガーにすることができます。またトリガーとなる残り時間を OFF、1～99秒の中から選択することができます。

● フラッシュスタートしたいトラックを登録したプレイリストまたはフォルダを、現在の再生エリアに設定します。操作できるトラック数は先頭から 20 トラック以内になります。(→ SS-R1 取扱説明書 20ページ、SS-CDR1 取扱説明書 20ページ「第5章　再生再生エリア」)、(→ SS-R1 取扱説明書 30ページ、SS-CDR1 取扱説明書 30ページ「第5章　フラッシュスタート機能」)

フラッシュスタートする

1. 本機の LOAD/STOP キーまたはリモコンの FLASH LOAD キーを押して、再生エリア内のトラックの冒頭部のデータを読み込みます。
読み込みが完了すると、本機の LOAD/STOP キーが点灯し、本体のホーム画面右下に "FLASH" が点灯します。
これで準備が完了です。
この操作を行わないと通常のダイレクトプレイスタートになりますので、音が出るまで少し時間がかかることがあります。

2. フラッシュスタートしたいトラックに対応する再生キー（1～20）を押します。



トラックの再生が瞬時に始まります。再生中、インジケーターが点灯します。再生を終えて停止するとインジケーターが消灯します。

ご注意

本体の再生モードを Single 以外に設定した場合や、本体で操作を行った場合、本体の動きと本機の表示が一致しないこともあります。

第4章　HD-R1と使う

接続する

HD-R1 リアパネルのPARALLELコネクターと本機のREMOTE 2コネクターを専用ケーブルで接続します。（ → 7ページ「接続ケーブル」）

ご注意

- REMOTE 2コネクターにHD-R1を接続時、REMOTE 1コネクターには何も接続しないでください。
- 接続ケーブルの抜き差しは、HD-R1本体の電源を切った状態で行ってください。電源を入れたまま抜き差しをすると、故障の原因となります。

レコーダーを設定する

以下の設定を行います。

● メインメニューのSystem Settingsメニューから Parallel Portサブメニューを選択し、以下の設定を行います。（ → HD-R1 取扱説明書 19ページ「第3章　Parallel Portサブメニュー」）

- Parallel Mode項目をDirect Playに設定します。
- Busy 1 Signal項目をPlaybackに設定します。
- Busy 2 Signal項目に設定されたものがEOMインジケーターに表示されます。

● 本体フロントパネルのMODEキーを使って、再生モードをSingleに設定します。（ → HD-R1 クイックスタートガイド 12ページ「第5章　再生モードを設定する」）

● 再生モードをプレイリスト（またはフォルダ）に設定し、ダイレクトプレイスタートしたいトラックをプレイリスト（またはフォルダ）に登録してカレントプレイリスト（またはカレントフォルダ）に設定します。トラック数は16トラック以内にしてください。

ダイレクトプレイスタートする

1. ダイレクトプレイスタートしたいトラックに対応する再生キー（1～16）を押します。

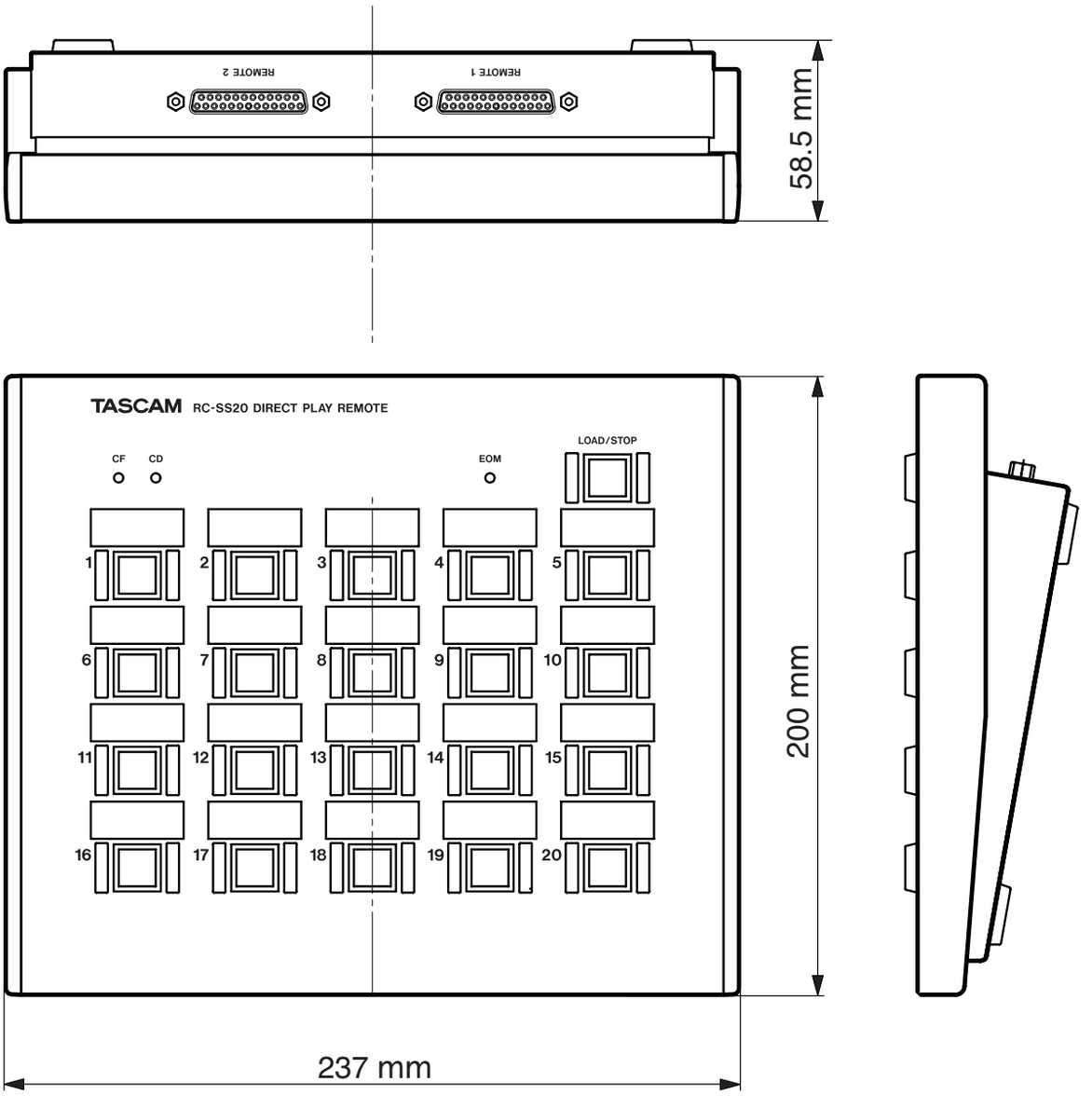
ご注意

本体の再生モードをSingle以外に設定した場合や、本体で操作を行った場合、本体の動きと本機の表示が一致しないこともあります。

一般

電源電圧：DC5V（本体から供給）
消費電力：500mW以下
外形寸法：237（幅）x 58.5（高さ）x 200.5（奥行き）mm
質量：1.2kg

寸法図



この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム営業技術までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く 10:00～12:00/13:00～17:00 です。

タスカム営業技術　〒206-8530　東京都多摩市落合 1-47

0120-152-854

携帯電話・PHS・IP 電話などからはフリーダイヤルをご利用いただけませんので、
通常の電話番号（下記）にお掛けください。

電話：042-356-9137 / FAX：042-356-9185

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く 9:30～17:00 です。

ティアック修理センター 〒190-1232　東京都西多摩郡瑞穂町長岡 2-2-8

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

0570-000-501

ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。
PHS・IP 電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号（下記）にお掛けください。
新電電各社をご利用の場合、「0570」がナビダイヤルとして正しく認識されず、「現在、この電話番号は使われておりません」などのメッセージが流れることがあります。このような場合は、ご契約の新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

電話：042-556-2280 / FAX：042-556-2281

■ 住所や電話番号は，予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

ティアック株式会社
〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47
http://www.tascam.jp/

Printed in China